

# 令和5年度 徳島県ふるさと・水と土保全対策懇話会

日時:令和5年3月21日(木)  
午後1時30分から  
場所:ホテル千秋閣 7階  
「鶴の間」

## 1 開 会

## 2 あいさつ

## 3 議事内容

- 1)ふるさと水と土保全対策事業及びふるさと水と土保全推進事業の概要について
- 2)令和5年度の事業経過について
- 3)令和6年度の事業計画について
- 4)意見交換
- 5)その他

## 4 閉 会

農林水産部 農山漁村振興課

# 徳島県ふるさと・水と土保全対策懇話会について

## 開催目的

中山間地域、棚田地域における農地保全や農業・農村の活性化を目的に実施している「ふるさと・水と土保全事業」について、評価や助言をいただき、事業のさらなる拡充、推進を図る。

## 徳島県ふるさと・水と土保全対策懇話会

評価

意見

評価

意見

### 中山間ふるさと・水と土保全対策事業 (ふる水基金)

#### 【事業目的】

- 中山間地域における土地改良施設及びこれと一体的に保全する事が必要な農地の有する多面的機能を維持
- 住民活動による土地改良施設等の保全・利活用により中山間地域を活性化

#### 【事業対象地域】

- 過疎地域持続的発展特別措置法、山村振興法、離島振興法、半島振興法、特定農山村地域における農林業等の活性化のための基盤整備の促進に関する法律において、指定及び規定された地域

※対象市町村：県内16市町村  
鳴門市、阿南市、吉野川市、阿波市、美馬市、三好市、佐那河内村、神山町、勝浦町、上勝町、那賀町、美波町、牟岐町、海陽町、つるぎ町、東みよし町

#### 【事業内容】

##### ●調査研究事業

地域住民活動を通じた、土地改良施設や農地の機能の強化・保全に関する基本的対策等の作成及びこれに要する調査

##### ●研修事業

住民活動のリーダーとなる「ふるさと水と土指導員」の育成に 寄与する研修の実施・派遣

##### ●推進事業

事業を進めるのに必要な啓発普及活動、広報資料の作成、配布、各種イベントの開催

### 中山間ふるさと・水と土保全推進事業 (棚田基金)

#### 【事業目的】

- 棚田などの多面的機能の良好な保全と都市住民も交えた継続的な地域住民活動の推進
- 保全活動を行う集落組織等の育成・支援

#### 【事業対象地域】

自然傾斜を緩和した農地が階段状に分布しており、勾配1/20以上の農地の面積が当該地域の全農地の面積の1/2以上を占める地域

※県内棚田箇所数：75カ所

#### 【事業内容】

##### ●保全ネットワーク推進事業

都市住民等の保全活動への参加促進を図るための事業

##### ●保全活動推進事業

住民組織が行う保全活動の推進を図るために実施する事

##### ●保全活動支援事業

集落協定に基づいて実施される棚田などの保全活動や利活用に対して経費等の助成を行う。

効果

#### <ふる水基金>

- 地域リーダーを中心とした「個性ある地域づくり」に取り組む体制の整備
- 農業生産等の協働活動を通じて、中山間地域の多面的機能を維持
- 新たなコミュニティ活動の展開による地域の活性化

#### <棚田基金>

- 地域住民活動の活性化により、都市住民等を巻き込んだ活動参加ネットワークの構築
- 地域住民活動を推進する人材育成による活動の活性化
- 施設や農地の保全・利活用活動等への継続した支援実施による多面的機能の発揮

1 ふるさと水と土保全対策事業及びふるさと水と土保全  
推進事業の概要について

# 中山間ふるさと・水と土保全対策事業（ふる水基金）について

## 1) 対策の目的

中山間地域の多くの集落では過疎化や高齢化が進み、後継者不足や耕作放棄地の増加、地域コミュニティの低下など様々な課題に直面しており、農業生産と併せて国土保全や自然・文化の伝承など、農山村が持つ多面的機能は低下の一途をたどっています。

ふるさと・水と土保全対策では中山間地域を中心として、農地や土地改良施設等の利活用や地域コミュニティ活動の活性化を図るため、地域における活性化を推進する人材の育成、施設や農地の利活用及び保全整備等の促進を目的として、平成5年度に創設されました。

## 2) 対策の概要

本対策は、「中山間ふるさと・水と土保全対策事業（徳島県基金）」と市町村単独事業（市町村基金）によって、地域住民による組織づくりや保全活動等を推進しています。

## 3) 徳島県での基金の状況

### 中山間ふるさと水と土保全対策事業

672,000千円      国費1/3      県費2/3

平成5年度から平成9年度にかけて造成

# 中山間ふるさと・水と土保全推進事業（棚田基金）について

## 1) 対策の目的

棚田が耕作放棄され多面的機能が発揮されなくなることによって、鳥獣害や土砂災害、洪水など周辺地域や下流地域に悪影響を与えることが懸念されています。

このため、棚田地域などを対象として、平成10年度から農地などの保全や利活用を行う地域住民活動に対し「中山間ふるさと・水と土保全推進事業」によって支援を実施しています。

## 2) 対策の概要

本対策では、都市住民との交流や景観形成にも役立てながら保全活動を推進するとともに、保全活動に必要な組織づくり、人材育成等も支援しています。

## 3) 徳島県での基金の状況

○棚田基金 中山間ふるさと水と土保全推進事業

630,000千円 国費1/3 県費2/3

平成10年度から平成12年度にかけて造成

## 2 令和5年度の事業経過について

# 令和5年度事業経過

## 1 中山間ふるさと・水と土保全対策事業

事業区分	事業名	事業内容	実績額(見込み)
(1)調査研究 事業費			(円) <b>3,000,000</b>
	ア 中山間むらづくり調査事業	中山間地域の土地改良施設や農地を整備・保全するために必要な基礎調査を行う。	3,000,000
(2)研修事業			<b>470,000</b>
	ア ふるさと水と土指導員 全国研修派遣	ふるさと水と土基金全国研修会に指導員候補者を派遣し、指導員を育成する。	170,000
	イ ふるさと水と土指導員県内研修	県内研修会を開催し、新たな地域づくりの手法や指導員間の情報交換を実施し指導員を育成する。	300,000
(3)推進事業			<b>10,250,000</b>
	ア ふるさと水と土保全対策懇話会	保全対策の内容を評価し、その意義を広く県民に対し周知する。	137,000
	イ 農林漁業体験推進事業	中山間地域の価値を地域住民自ら再認識し、地域資源として活用することで、都市部住民との交流・普及啓発につなげる。	773,000
	ウ 鳥獣被害予防推進事業	鳥獣被害の軽減を図るため、総合的な鳥獣被害対策を実施する「被害ゼロ集落」の育成、モンキードッグの導入を支援した。	3,500,000
	未来へ「つなぐ！」農山漁村 (ふるさと)元気づくり事業	地域リーダーの育成、住民によるビジョンの策定からその実現までの支援、協働活動における関係人口の拡大、各団体間の情報共有の場の創出と情報発信を行うことにより、地域が持つ「魅力」や「価値」のさらなる向上を図る。	5,500,000
	エ (うち) 徳島県ふるさと水と土 指導員活動支援事業	ふるさと水と土指導員が棚田地域等において企画・実践する環境保全活動、交流活動等を推進し、土地改良施設や農地等の保全及び農村地域の活性化の推進に資する。	(700,000)
	オ (うち) あわの農山漁村(ふるさと) 魅力創生事業	中山間地域において「ビジョン」の策定から早期実現を「パッケージ」として支援し、地域の魅力向上や住民の課題解決力の向上を図る。	(3,400,000)
	カ (うち) とくしま農山漁村(ふるさと) 応援し隊事業	地域に社会貢献したいという志を持つ都市部の大学・企業・NPOと協働パートナー協定を結び、農山漁村地域の要請に応じて応援活動を展開する。	(400,000)
	キ (うち) とくしま農山漁村(ふるさと) ネットワーク事業	県内の棚田保全活動団体等と県及び市町村により、「棚田ネットワーク」を設立し、各団体間の連携と情報共有を図るとともに、各地の魅力や活動状況を発信する。	(1,000,000)
	ク 啓発推進事業	中山間地域の多面的機能を地域住民及び県民に周知し、保全対策の必要性をPRする。	340,000
合 計			<b>13,720,000</b>

## 2 中山間ふるさと・水と土保全推進事業

事業区分	事業名	事業内容	予算額
(1)保全ネット ワーク推進 事業			(円) <b>4,707,000</b>
	棚田地域等保全対策事業費	棚田地域への理解促進を図る。	477,000
	未来へ「つなぐ！」農山漁村(ふるさと) 元気づくり事業	上記と同様。	4,230,000
	(うち) とくしま農山漁村(ふるさと) 応援し隊事業	上記と同様。	(3,165,000)
	(うち) とくしま農山漁村(ふるさと) ネットワーク事業	上記と同様。	(530,000)
(2)保全活動 推進事業			<b>2,300,000</b>
	未来へ「つなぐ！」農山漁村(ふるさと) 元気づくり事業	上記と同様。	2,300,000
	(うち) ふるさと水と土指導員活動 支援事業	上記と同様。	(700,000)
	(うち) あわの農山漁村(ふるさと) 魅力創生事業	上記と同様。	(1,600,000)
合 計			<b>7,007,000</b>

# 1 中山間ふるさと・水と土保全対策事業

## (1) 調査研究事業

### A 中山間むらづくり調査事業

本県の中山間地域は、本県の農業の重要な地位を占めている。しかしながら、昨今の頻発化・激甚化する自然災害により、農業の継続、農業用施設の機能低下、地域環境の維持などが懸念されている。中山間地域の優良農地を保全し継承するためにも、老朽化や機能低下により、周辺の農用地等に被害を与えるおそれのある農業用施設の災害を未然に防止する農業生産基盤整備が急務であり、この事業計画策定を行った。また、中山間地域では、農地・里山・水路等の多様な自然が存在し、身近な動植物、田園空間が残されている。これらの豊かな環境を次世代に継承するためにも、環境との調和に配慮した農業農村整備が求められている。このことから、田園環境の保全に資するため必要な環境調査を行った。



調査計画策定(農地への溢水状況)



環境調査(植物調査)



環境調査(魚類調査)

#### ◆調査結果及び今後の取組

	調査名	調査結果	今後の取組方針
	地区名		
調査計画策定	河内谷西部 (三好市)	災害を未然に防止し、農用地等の保全を図るための長寿命化・防災減災事業の計画策定を行った。	策定した事業計画を基に、災害を未然に防ぐことを目的とした事業実施に努める。
環境調査	江野島 (阿南市)	地区内の環境調査を行い、環境に配慮した工法検討を行った。	本調査で得られた知見を事業実施段階において、適切に実践することで、環境に配慮した土地改良事業の展開に努める。

#### ◆次年度の調査計画

	調査名	調査内容
	地区名	
環境調査	川田 (吉野川市)	農業生産条件に不利のある中山間地域において、生産基盤整備を行い、中山間地域の活性化や農業振興を目的とした事業計画策定に必要な環境調査を実施する。

## (2) 研修事業

### A ふるさと水と土指導員全国研修会派遣

例年、ふるさと水と土指導員(市町村長の推薦に基づき、農村地域の活性化に理解と熱意を有し、地域の人望のある者を指導員に任命)として任命予定者を、ふるさと水と土基金全国研修に派遣している。  
令和5年12月6日～7日東京都の会場及びオンライン上で研修会が実施された。  
ふるさと水と土指導員及び指導員任命予定者6名(会場3名、Web3名)が受講した。



## イ ふるさと水と土指導員県内研修会・任命式

日時：令和6年3月5日（火）  
 場所：徳島市 徳島グランヴィリオホテル  
 目的：本年度のふるさと水と土指導員の活動報告と指導員同士の交流を図ることで、さらなる地域活性化活動の展開を目指すことを目的とする。

内容  
 (1) 指導員活動事例発表  
 (2) 意見交換  
 (3) 任命式  
 (指導員に4名を任命した。)  
 など



研修会



任命式

### (3) 推進事業

## ア ふるさと水と土保全対策懇話会

毎年1回開催し、保全対策の内容を評価し、広く県民に周知する。

日時：令和6年3月21日（木）  
 場所：徳島市 ホテル千秋閣



ふるさと水と土保全懇話会

## イ 農林漁業体験推進事業

四国グリーン・ツーリズム推進協議会において、キャンペーン実施による農林漁業体験施設等のPRや四国4県グリーン・ツーリズム実践者交流研修会を実施した。

また、SNS等を活用した定期的な情報発信を行った。

【取組内容】

①4県連携キャンペーン「思いっきり四国！88癒やしの旅。」

期間：令和5年8月1日～令和6年1月8日

内容：施設利用者が体験内容をInstagramに投稿するか、アンケートに答えて応募し、88名に特産品をプレゼント

応募者数：413人

主な来県者：東京都、兵庫県、高知県、愛媛県、香川県など

②「四国4県グリーン・ツーリズム実践者交流研修会」の実施

日時：令和5年10月20日

場所：五十崎自治センター（愛媛県）

内容：唯一無二の地域ブランドの作り方や先進地取組等の研修を行うことで、四国4県のグリーン・ツーリズム実践者のスキルアップを図る。

③SNS等を活用した定期的な情報発信

内容：各県のグリーン・ツーリズム施設等を取材、投稿を行う。あわせて、各県担当による投稿も行う。

投稿数：40回程度

（各県の投稿40回）

【今後の取組】

- ・思いっきり四国！88癒やしの旅。キャンペーン
- ・グリーン・ツーリズム実践者交流研修会



「四国4県グリーン・ツーリズム実践者交流研修会」



「思いっきり四国！88癒やしの旅。」応募写真

### 農林漁家民宿の登録状況（累計）

年度	登録実績（累計）
平成20年度	4戸（4戸）
平成21年度	2戸（6戸）
平成22年度	2戸（8戸）
平成23年度	7戸（15戸）
平成24年度	2戸（17戸）
平成25年度	13戸（30戸）
平成26年度	3戸（33戸）
平成27年度	4戸（37戸）
平成28年度	5戸（42戸）
平成29年度	9戸（51戸）
平成30年度	11戸（62戸）
令和元年度	4戸（66戸）
令和2年度	1戸（67戸）
令和3年度	1戸（68戸）
令和4年度	3戸（71戸）
令和5年度	2戸（73戸）



農家民宿の状況

## ウ 鳥獣被害予防推進事業

鳥獣被害の軽減を図るため、総合的な鳥獣被害対策を実施する「被害ゼロ集落」の育成、モンキードッグの導入を支援した。

### 【取組内容】

- ①被害ゼロ集落の育成 3市町 3地区  
本事業で実施した主な地区
- ・那賀町（雄地区）サル用大型捕獲檻による捕獲対策研修会
  - ・海陽町（浅川地区）サル用大型捕獲檻による捕獲対策研修会
  - ・美波町（田井地区）サル用大型捕獲檻による捕獲対策研修会
- ②モンキードッグの導入支援  
これまでの実績（県内累計36頭導入うち6頭死亡）
- |         |         |         |
|---------|---------|---------|
| H24年度1頭 | H25年度6頭 | H26年度5頭 |
| H27年度5頭 | H28年度6頭 | H29年度3頭 |
| H30年度2頭 | R1年度3頭  | R2年度1頭  |
| R3年度2頭  | R4年度0頭  | R5年度2頭  |
- 【令和6年度の取り組み】
- ・「鳥獣被害ゼロ集落」のモデル育成
  - ・モンキードッグの導入支援
  - ・鳥獣被害対策強化月間における対策の実施



サル被害対策研修会  
（被害ゼロ集落の育成）



犬の訓練  
（モンキードッグの導入支援）

### 野生鳥獣による農作物被害の推移

年度	被害状況（面積：金額）	
平成21年度	78.2ha	102,351千円
平成22年度	102.4ha	155,905千円
平成23年度	78.4ha	128,733千円
平成24年度	84.3ha	131,880千円
平成25年度	70.6ha	119,112千円
平成26年度	71.0ha	113,451千円
平成27年度	75.6ha	122,663千円
平成28年度	64.6ha	112,598千円
平成29年度	62.9ha	111,484千円
平成30年度	46.7ha	103,206千円
令和元年度	51.2ha	94,446千円
令和2年度	56.7ha	91,024千円
令和3年度	32.0ha	91,055千円
令和4年度	32.1ha	86,593千円

## エ ふるさと水と土指導員活動支援事業

### (未来へ「つなぐ！」農山漁村(ふるさと)元気づくり事業)

ふるさと水と土指導員が、土地改良施設や農地の保全活動・農村地域の活性化を図るための交流行事等を実施した場合、その要した経費について補助金として交付した。

①ふるさと水と土指導員活動支援事業(上限10万円)

指導員が中心となって実施する活動

②ふるさと水と土指導員育成支援事業(上限10万円)

新たな指導員候補者の育成のために、指導員候補者を同行させて実施する活動

③ふるさと水と土指導員連携支援事業(活動費加算上限5万円)

複数の指導員同士が連携して実施する活動

申請数 16件(①15件、②4件)

市町村名	地区名	事業内容
吉野川市	美郷	①子供たちに美郷の自然を体験してもらい、後世に伝える活動を行う。また、耕作放棄地を減らし、自然保護、地元ボランティアと地域外の方との交流を深めるため、花で町を活性化する。
	美郷	②指導員候補者とともに、移住を検討している新規就農候補者等をに向けての耕作放棄地等を巡るサイクリングツアーを実施するための調査を実施する。
	美郷	①美郷でのイベントに加え、菜の花、れんげの花、アーモンドの花、ひまわりの花により、荒廃農地を回避し、景観美化を図る活動を行う。
美馬市	脇町	①景観植物で里山と都市の交流を行い、景観保全や地域活性化活動を図る。(本年度事業中止)
三好市	馬路	①地区内外の住民と一緒に、耕作放棄地を利用したソバの栽培やソバ打ち等の体験会を通じ、地域の特徴や資源を活かした持続可能な地域づくりを目指す。(本年度事業中止)
勝浦町	坂本	①水車を中心とした環境学習や地元の木を使い木のスプーンを作る体験を通じ、継続的な環境保全活動と地域活性化を図る。 ②指導員候補者とともに、田植えや稲刈り、米の試食会を行い、農業体験や食育につなげる。
神山町	神領	①集落の農地保全や景観、文化を次世代に継承していくことを目的に、地区内外の子供や大人が共に楽しむ田舎あそび体験教室(カブトムシ採集、子供川遊び)を開催する。
那賀町	横石	①集落に存在する耕作放棄地について、地域住民と共同で草刈り農地の保全活動を行い、地域の景観を守るなど、地域の活性化に繋がる取組を実施した。
	延野	①農業推進や地域の魅力発信、多世代交流など様々な面から地域の活性化に取り組むため、花畑を作る。 ②指導員候補者とともに、子供や高齢者、農業後継者などとともに、花の種や苗を植え、地域の活性化に取り組む。
	西納	①耕作放棄地を利用した、環境学習「子供と学ぶ生き物調査」を実施する。 ②指導員候補者とともに、農産物として栽培・収穫したものを食文化体験として味わうことで、次世代へ受け継ぐ。
	平谷	①都市住民との協働による、晩茶摘み体験活動や間伐枝打ち体験活動を通じ、地域の活性化を目指す。
美波町	木岐	①地域内外住民との農業体験交流の場(かかしコンテスト)創設のためサツマイモを栽培するとともに、休耕田に、交流・ふれあいの場の創設として景観植物を植栽し、地域の景観保全と活性化に取り組む。
牟岐町	川長	①耕作放棄地を活用しビオトープを作り周辺の環境を整え自然観察や自然から力と恵みを体験できる場としており、隣接する休耕田に花の苗を植え、地域の人々との交流の場とする。
	灘	①休耕田を活用し、レンゲやコスモスを植え、地域の憩いの場とする。
	灘	①地域住民とともに、農業・農村の多面的機能や農地保全の大切さを知ってもらうため、講習会を実施する。
つるぎ町	一字	①地域住民が中心となり、地区内の道沿いにある耕作放棄地を解消するとともに、つつじを植えて地域の景観の活性化につなげる。



コスモスの播種作業(那賀町)



花による景観美化(那賀町)



集落での農地保全活動の打合せ(那賀町)



かかし展示会の開催(美波町)



花苗木の植え付け(つづぎ町)



圃場の生き物調査(那賀町)



田植え体験会(勝浦町)

## 2. 水車を学ぶワークショップ



3月に開催

水車を学ぶワークショップ(勝浦町)



農作物収穫体験(那賀町)



晩茶摘み体験(那賀町)



郷土料理作り体験(那賀町)



耕作放棄地等を巡るサイクリングツアー実施のための調査(吉野川市)

**オ あわの農山漁村（ふるさと）魅力創生事業  
（未来へ「つなぐ！」農山漁村（ふるさと）元気づくり事業）**

農山漁村地域の魅力向上や住民主体の課題解決力の向上を目的とした「魅力向上・地方創生のモデル」づくりを行うため、地域住民による「魅力創生ビジョン」の作成から早期実現までを「パッケージ」として支援する。

**【取り組み内容】**

○農山漁村の活性化に取り組もうとする地域へ、外部講師等の専門員を派遣し、住民主体の「ワークショップ」（体験型講座）を開催し、住民の実行計画である「魅力創生ビジョン」を作成した。

阿南市椿地区 令和5年10月23日～令和6年1月30日  
阿南市加茂谷地区 令和5年10月28日～令和5年12月23日  
阿波市大影地区 令和6年1月21日～令和6年3月16日

○作成した「魅力創成ビジョン」の円滑かつ効率的な取組について支援し、早期実現を図った。

牟岐町（内妻地区）



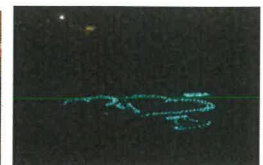
ワークショップ風景

**【棚田の保全・活用の取組支援】**

県内の棚田地域について、棚田の保全・活用の取組を公募し、支援を行った。

- 「棚田保全活用タイプ」評価委員会  
日 時：令和5年6月23日（金）  
場 所：県庁6階601会議室

棚田名	実施事業名
①吉野川市美郷「高開の石積み」	地域と人を結びつける～にほんの里100選高開の石積み保全と活用～
②上勝町「八重地の棚田」	にほんの里100選「八重地の棚田」における茅葺き民家を拠点とした棚田保全活用事業
③上勝町「椋原の棚田」	高齢化が進む「椋原の棚田」ヤッホー活動による集落元気づくり事業
④上勝町「椋原の棚田」	遊休農地を活用した参加型棚田キャンプ・スタートアッププロジェクト
⑤上勝町「市宇・椋原の棚田」	小規模LEDライトアップ交流による棚田ナイト・ツーリズム復活！



①高開石積みの修復作業

②棚田のお米の収穫作業

③ヤッホー体験の様子

④棚田キャンプ実現に向けた専門家や住民とのフォーカスグループミーティング

⑤市宇の棚田におけるLEDライトアップ

## 力 とくしま農山漁村(ふるさと)応援し隊事業 (未来へ「つなぐ!」農山漁村(ふるさと)元気づくり事業)

社会貢献に積極的な「企業・大学・NPO法人等」協働パートナーの協力を得て、農作業や地域コミュニティ活動など、農山漁村地域の保全・活性化を図った。現在、85団体と「協働パートナー協定」を締結している。

### 【農山漁村(ふるさと)協働パートナー協定締結式】

日 時 令和5年11月16日(木)  
場 所 各団体の事務所において実施  
内 容 協働パートナー協定締結(4団体)

### <新規協働パートナー団体>

H22: 8団体 H23: 10団体 H24: 11団体 H25: 10団体  
H26: 7団体 H27: 6団体 H28: 4団体 H29: 7団体  
H30: 5団体 R1: 3団体 R2: 3団体 R3: 4団体  
R4: 3団体 R5: 4団体

※協定締結85団体(うち6団体現在未継続)

### 【R5年度活動実績】(令和6年2月末時点)

- 活動日数 43日間
- 活動した農山漁村 10地域
- 主な活動内容
  - ・地域の環境保全活動
  - ・地域イベント支援
  - ・ハッサクの収穫 など

### 【とくしま農山漁村(ふるさと)応援し隊知事感謝状の贈呈】

日 時: 令和5年11月14日(火)  
場 所: 徳島市 徳島文理大学  
内 容: 熱心に協働活動に取り組んでいただいている協働パートナー「徳島文理大学」に感謝状と記念品を贈呈

### 【とくしま農山漁村(ふるさと)応援し隊交流会】

日 時: 令和5年12月20日(水)  
場 所: 徳島市内  
内 容: (1) グループワーク  
(2) 個別交流

### 【とくしま農山漁村(ふるさと)応援し隊研修会】

日 時: 令和6年3月5日(火)  
場 所: 徳島市内  
内 容: ボランティア受け入れ時の体制や危機管理等について

### 【とくしま農山漁村(ふるさと)応援し隊事業協働活動調整等業務】

公募型プロポーザルにより委託業者を選定し、協働活動実施に係る調整業務を委託するとともに、協働活動をより魅力的なものへ磨き上げることで、地域のファンになり、協働活動に積極的に参加する仕組みづくりに取り組んだ。

- ・委託業者 株式会社徳島新聞ネクスト
- ・業務内容 協働活動の調整、協働活動当日の進行、報告書作成、ボランティア保険加入手続き など



協定締結式



かかし展示会お手伝い  
(美波町)



だんじりの曳き手  
(海陽町)



八朔収穫作業  
(美馬市穴吹町)



郷土料理づくり体験・  
林業レクチャー  
(那賀町)



集落道の整備  
(美馬市脇町)



日和佐ちようさ担ぎ手  
(美波町)



感謝状贈呈式の様子



交流会でのグループ  
ワークの様子

## キ とくしま農山漁村(ふるさと)ネットワーク事業

### (未来へ「つなぐ!」農山漁村(ふるさと)元気づくり事業)

#### ①とくしま棚田ネットワーク

県内の棚田保全活動団体等と県及び市町村により、「棚田ネットワーク」を設立。各団体間の連携と情報共有を図るとともに、各地の魅力や棚田ネットワーク構成団体の活動情報を一元的に情報発信している。

総 会：令和5年4月27日(木)徳島市内  
事業報告、事業計画、講演、発表、意見交換等

会 員：県、関係市町村、中国四国農政局徳島県拠点、  
徳島県土地改良事業団体連合会、  
徳島県農業会議、棚田保全に係る団体、NPO法人、  
徳島県ふるさと水と土指導員、学識経験者

#### ②とくしまの農山漁村ホームページ

農山漁村地域への支援事業や、とくしま棚田ネットワーク構成団体の活動内容を情報発信している。

本年度は、記事情報の充実を図るとともに、より見やすく、利便性の高いホームページとするよう取り組んだ。

(とくしまの農山漁村HP：<https://www.tokushima-nousangyoson.net/>)

#### ③中山間地域魅力発見フォトコンテスト

中山間地域の魅力ある写真を通じて、ふるさと徳島を広くPRするため、第17回となる「とくしまの中山間地域魅力発見フォトコンテスト」を開催した。

51点の応募の中から10点(つなぐ棚田遺産部門5点、中山間部門5点)の優秀賞を選定し、今後、各種パンフレットやホームページ、Instagramで紹介する。

#### ④徳島発!輝くむらのたから展開事業

県内各地の特徴ある豊かな「農林水産業」や、それにまつわる伝統的な「食」、「景観」、「伝統行事」などの「むらのたから」を活用した農山漁村の体験交流や観光の促進に取り組む地域をH30、R1年度にかけて9地域認定した。

##### 【認定地域】

- ・内野地域(東みよし町)
- ・善入寺島地域(吉野川市)
- ・上勝地域(上勝町)
- ・有瀬地域(三好市西祖谷山村)
- ・和田島地域(小松島市)
- ・湊名地域(美馬市穴吹町)
- ・美郷地域(吉野川市)
- ・木頭地域(那賀町)
- ・上板地域(上板町)

R2年度までに9地域のVRプロモーション映像を作成しており、Youtubeにて公開中。R5年度は、「とくしま農山漁村応援し隊事業」で応援したイベント会場でVR体験やパンフレット配布を行った。

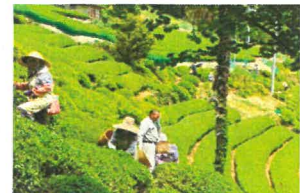


徳島の棚田ネットワーク



棚田ネットワーク総会

フォトコンテスト応募作品



有瀬地域



上板地域



和田島地域

## 2 中山間ふるさと・水と土保全推進事業

### (1) 保全ネットワーク推進事業

#### 棚田地域等保全対策事業

棚田地域への理解促進を図る。

#### とくしま農山漁村(ふるさと)応援し隊事業 (未来へ「つなぐ!」農山漁村(ふるさと)元気づくり事業)

1の(3)の力のとおり。

#### とくしま農山漁村(ふるさと)ネットワーク事業 (未来へ「つなぐ!」農山漁村(ふるさと)元気づくり事業)

1の(3)のキのとおり。

### (2) 保全活動推進事業

#### ふるさと水と土指導員活動支援事業 (未来へ「つなぐ!」農山漁村(ふるさと)元気づくり事業)

1の(3)の工のとおり。

#### あわの農山漁村(ふるさと)魅力創生事業 (未来へ「つなぐ!」農山漁村(ふるさと)元気づくり事業)

1の(3)のオのとおり。

### 3 令和6年度の事業計画について

# 令和6年度計画（案）

## 1 中山間ふるさと・水と土保全対策事業

事業区分	事業名	予算額(案)
(1)調査研究 事業費		(円) <b>3,000,000</b>
	中山間むらづくり調査事業	3,000,000
(2)研修事業		<b>770,000</b>
	ふるさと水と土指導員全国研修派遣	335,000
	ふるさと水と土指導員県内研修	435,000
(3)推進事業		<b>22,040,000</b>
	ふるさと水と土保全対策懇話会	137,000
	農林漁業体験推進事業	773,000
	鳥獣被害予防・ジビエ認証取得促進事業	3,000,000
	未来へ「つなぐ！」あわの農山漁村(ふるさと)元気づくり事業	7,700,000
	（うち）ふるさと水と土指導員活動支援事業	(1,300,000)
	（うち）あわの農山漁村(ふるさと)魅力創生事業	(5,000,000)
	（うち）とくしま農山漁村(ふるさと)応援し隊事業	(1,400,000)
	啓発推進事業	430,000
とくしま「デジ活」農山漁村づくり推進事業	10,000,000	
合 計		<b>25,810,000</b>

## 2 中山間ふるさと・水と土保全推進事業

事業区分	事業名	予算額(案)
(1)保全ネット ワーク推進 事業		(円) <b>8,697,000</b>
	棚田地域等保全対策事業	477,000
	未来へ「つなぐ！」あわの農山漁村(ふるさと)元気づくり事業	8,220,000
	（うち）とくしま農山漁村(ふるさと)応援し隊事業	(7,500,000)
	（うち）とくしま農山漁村(ふるさと)ネットワーク事業	(720,000)
(2)保全活動 推進事業		<b>10,700,000</b>
	鳥獣被害予防・ジビエ認証取得促進事業	3,000,000
	未来へ「つなぐ！」あわの農山漁村(ふるさと)元気づくり事業	2,700,000
	（うち）ふるさと水と土指導員活動支援事業	(1,200,000)
	（うち）あわの農山漁村(ふるさと)魅力創生事業	(1,500,000)
とくしま「デジ活」農山漁村づくり推進事業	5,000,000	
合 計		<b>19,397,000</b>

